

2024 年 期 生 (J1) 各 位

(2 / 8 実 施) 2024 年 期 デ ィ ス カ ッ シ ョ ン そ の 2 に つ い て

「ディスカッションその2」は下記要領にて行います。天満研修センター5階の受付で補習生カードを通してから指定された教室へ移動してください。

記

ディスカッションその2のテーマは下記のとおりです。どちらのテーマ(テーマ1、テーマ2)、どちらの立場(A派、B派)を担当することになっても、活発な議論が出来るように事前に情報収集に努め自身の考えをまとめたうえ、出席して下さい。テーマの割り当ては、当日講師が決定します。

【テーマ1】

日本では、iDeCo(イデコ)やNISA(ニーサ)といった一定の投資に対して税制上の優遇措置が提供され、個人資産の形成が促進されています。

しかしながら、公認会計士が、投資することには、メリットもデメリットもあります。倫理規定の遵守、信頼性の維持、独立性の維持、経済の活性化等の視座からメリット・デメリットを整理し、公認会計士が投資をするメリットがデメリットを上回るか否か、踏まえた上でA派・B派に分かれて議論しなさい。

A派：公認会計士が投資をすることは適す。

B派：公認会計士が投資をすることは適さない。

iDeCo(イデコ)：個人型確定拠出年金(individual-type Defined Contribution pension plan)、

NISA(ニーサ)：少額投資非課税制度(Nippon Individual Savings Account)、イギリスのISA(Individual Savings Account=個人貯蓄口座)をモデルにした日本版ISA

【テーマ2】

2019年4月施行の改正労働基準法で、時間外労働の上限が規定され、上限を超える労働は法律違反となることとなりました。

この結果、繁忙期において監査手続が完了していないにも関わらず、時間外労働ができない状況が想定されます。

ここで、会計監査という社会インフラ的意味合いの強い監査法人に労働基準法の残業規制が適用されることに対する是非について、A派、B派に分かれて議論しなさい。

(A)会計監査業務に残業規制は適用されるべきではない

(B)会計監査業務といえども残業規制は適用されるべきである

会場：天満研修センター

当日の出席確認等の手順について(ディスカッション・ゼミナール共通)

受付で、「補習生カード」をQRリーダーに通す。

各会場での座席位置は、別紙で指定された教室に入り、グループの島に着席してください。

以上